

SAGA2024小城市実行委員会設立趣意書

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として国民の健康増進と体力向上及び地方スポーツの振興と地方文化の発展、競技施設の整備など、地方社会の発展に大きな役割を果たしてきました。

佐賀県では、昭和51年に「さわやかに・すこやかに・おおらかに」をスローガンに第31回大会「若楠国体」を開催し、その後のスポーツの普及・発展や地域づくりの礎となり、レガシーとして受け継がれています。

それから48年の時を経て、国民体育大会の名称が「国民スポーツ大会」に変わる最初の本大会として、再び佐賀の地で開催されることが決定し、小城市がその競技会場の一つとなることは、本市の多彩な魅力を全国にアピールする絶好の機会であると同時に、日本のトップアスリートたちの力と技に触れることによって、市民のスポーツへの興味・関心・意欲が高まり、健康づくりや地域づくりにつながっていくことが期待され、本市が描く将来像「^{こきょうこうき}誇郷幸輝～みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市～」の実現の大きな力となっていくものと確信しております。

このような意義のある大会を成功に導くためには、地域の力を結集し、大会開催に向けて市民や関係団体、行政などが一体となって取り組み、相互の連帯感や郷土意識を高めていくことが必要であり、小城市民の総力を結集して真心からのおもてなしで魅力にあふれ心に刻まれる大会となるよう、ここに各界の代表者の参画を得て、「SAGA2024小城市実行委員会」を設立するものであります。

令和3年7月7日